

琴浦グルメめぐるウォーク



議会だより

第38号

2013年12月1日発行



■ 定例会	2
■ 臨時会	4
■ 一般質問	5
■ 議会報告会	15
■ 委員会報告	16
■ 請願、陳情	17
■ 町民の声、あとかぎ	18

一般会計と住宅新築資金会計で活発討論

9月定例議会は、9月6日に召集され、20日まで開かれました。9月議会は「決算議会」といわれるように1年間の町政運営の成果が検証される議会です。24年度決算に対して一般会計で7人の議員が討論を行い、特別会計では住宅新築資金会計に討論が集中しました。

また、6月議会で提起された石賀議員に対する懲罰問題も9月議会の冒頭に「陳謝文の朗読を科す」ことが決まりました。議員提案による意見書提出では、道州制の導入に反対する意見書に対して4人の議員が討論を戦わせました。

104億7,301万円の支出で2億5,870万円の黒字

一般会計の決算

討論①

24年度一般会計決算

反対 井木 議員

赤碓診療所の医師同乗システムは、出勤してこないのに100万円が計上されている。これは不適切な支出であり反対する。

反対 高塚 議員

当初予算でも課題の対策が不十分だから反対した。新庁舎や同和対策は見直すべきだが旧態依然になっている。改善が進んでおらず反対である。

賛成 前田 議員

多角的に総合的に判断すべきで、24年度は適切な支出がなされており、賛成である。

反対 青亀 議員

国がやめて10年を経過した同和対策が改革されていない。工業団地は実質的に「不執行」になった。年度中途の住宅リフォーム助成の打ち切りは認められない。

賛成 武尾 議員

無駄を省いた予算執行になっている。名刺だけでもつての企業誘致はダメだ。きちんとしなかったら企業誘致は難しい、検討をお願いする。

賛成 小椋 議員

部分的には反省する所も多々あるが、いろんな事業の推進がきちんと執行されており、賛成する。

賛成 桑本 議員

自主財源、依存財源の確保に努力され、経費の削減も随所に見られる。決算の認定になら問題点はない。

討論②

24年度住宅新築資金会計決算

反対 青亀 議員

改革を提案したが、対応は緩慢である。貸付金の回収実績としてはモラルハザードである。厳しく指摘し、今後の行政の対応を促したい。

賛成 語堂 議員

これは国策であり、国に要望を上げて改善するのが望ましい。よって決算は認定すべきと考える。

反対 高塚 議員

未済額の8%しか入っていない。92%は滞納。決算書は黒字で聞こえはいいが、中身は火の車だ。公費を投入してでもすつきりすべきだ。

賛成 山田 議員

償還委員会をつくり努力されている。苦しい中から償還している部分もあり、認定すべきだ。

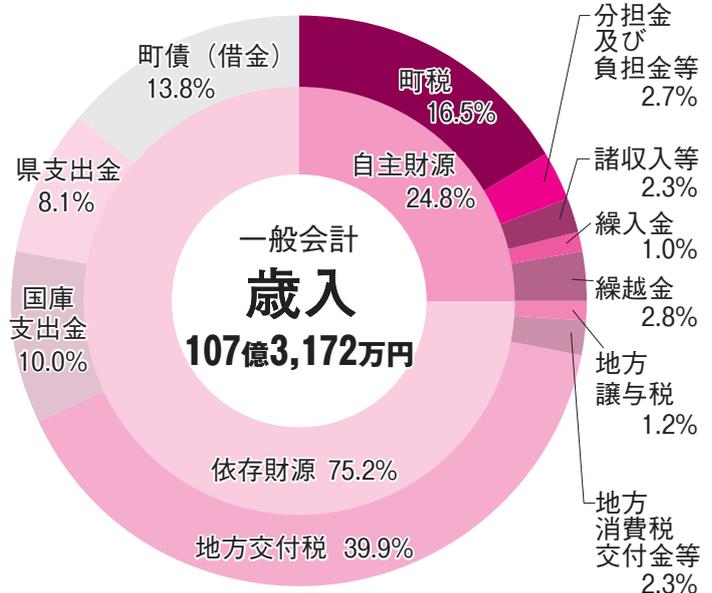
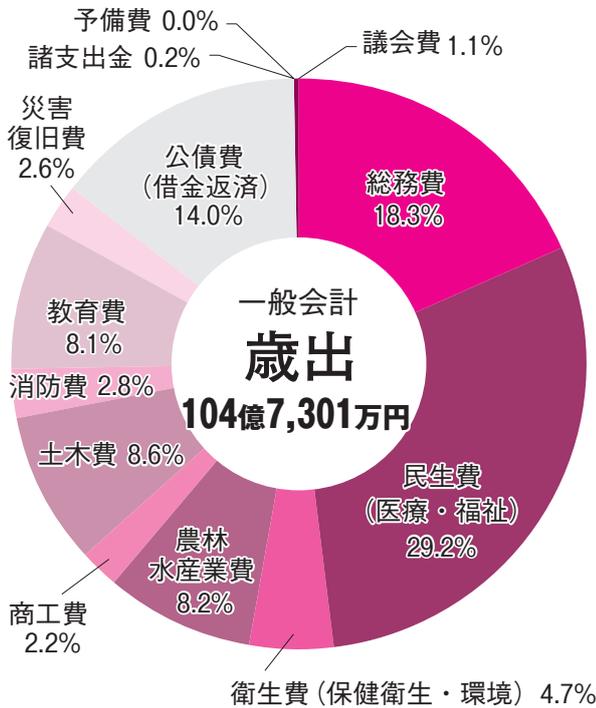
反対 井木 議員

苦しい生活の中でも返し続けてきたという人に対して、申し訳ないという観点からこの会計には反対である。

賛成 石賀 議員

この事業が取り組まれた時点から適切ではなかった。生活保護を申請してでも償還金は払ってもらわなければならない。払っておられる人が大部分で賛成する。

町の財布の中身



24年度に行った事業



福祉事務所が開設



赤碕中学校プール完成



新しい庁舎で業務開始

各会計の24年度決算の概要 (万円)

会計名	決算額	黒字額
一般会計	1,047,301	25,870
国民健康保険会計	235,417	6,063
住宅新築資金会計	7,144	444
農業集落排水会計	25,775	163
下水道会計	84,660	1,514
介護保険会計	222,511	1,212
後期高齢者医療会計	18,874	61
各地区財産区会計	256	3,266
水道事業会計	22,315	△6,188

すべての会計決算は認定されました。

「陳謝文」朗読の懲罰

6月議会で提起され、閉会中の継続審議になっていた石賀議員に対する懲罰は、9月議会冒頭で「陳謝文の朗読を科す」という懲罰が賛成多数で決まりました。

議会が議決して、石賀議員が朗読した「陳謝文」は次の通りで、再発防止が誓われました。

私は、6月20日の本会議における川本議長に対する問責決議の討論に関する発言中、不穏当な言辞を用い、議会の品位を保持し、秩序を守るべき議員の職責に鑑みて、ここに申し訳ありません。ここに深く反省し、二度とこのようなことを行わないことをお誓いし私の誠意を披瀝して陳謝します。

平成25年9月6日

琴浦町議会議員

石賀 榮

賛否が分かれた議案の起立採決による審議の結果

	語堂 正範	山田 義男	新藤 登子	藤堂 裕史	藤本 則明	高塚 勝	小椋 正和	手嶋 正巳	金田 章	武尾 頼信	青亀 壽宏	前田 智章	桑本 始	井木 裕	山下 一成	大田 友義	石賀 榮	川本正一郎
平成24年度琴浦町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	議
平成24年度琴浦町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	議
石賀榮君に対する懲罰の件	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	除	議
琴浦町漁村センター条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議
平成25年度琴浦町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	議
琴浦町赤碓財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
琴浦町成美財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
道州制導入に断固反対する意見書の提出について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	議

この表に掲載していない議案は全会一致で可決しました。

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長 除=除斥(じよせき)※1 退=退去※2

※1 一身上に関する議案のため採決に加わりません。

※2 議場外に退席のため採決に加わりません。

臨時会

7月12日と8月9日に臨時議会が開かれました。主な内容は浦安小学校大規模改修工事の契約と豪雨災害復旧関連を中心とした一般会計補正予算(第2号)です。



浦安小学校改修



災害 復旧前



災害 復旧後

ここが聞きたい

一般質問 Q&A

質問議員	質問事項	掲載ページ
石賀 榮	①上納金について	6
新藤 登子	①中学生に議会傍聴を	6
青亀 壽宏	①参議院選挙の結果を受けての町長の町政運営に対する基本姿勢について ②国民健康保険の「均等割」の減免制度の確立を ③小規模災害の地元負担を国補助並に ④「非核平和宣言」の標柱と共に「宣言」そのものを明示するプレートの設置を	6
桑本 始	①琴浦農業維新 農地に再生の新風を（提言） “漢方、唐辛子プロジェクト始動 契約栽培による産地化と農家所得の確保”	8
手嶋 正巳	①小学校の統合長期展望について ②保育料の滞納について	8
井木 裕	①河川、海、森林の多様性について ②公共料金の滞納について	9
小椋 正和	①企業誘致行政課題について ②小・中学校の土曜日授業実施について	10
高塚 勝	①非正規職員について ②町の資産経営（ファシリティマネジメント）について ③事業予算について	11
語堂 正範	①鳥獣被害対策の充実を図ってはどうか ②通学路の検証が必要ではないか ③自治基本条例をどのように考えられているのか	12
山田 義男	①食物アレルギーの発作（アナフィラキシー症状）時に使用するエピペンの導入を	14

なお、詳しい内容についてお知りになりたい方は、後日掲載される琴浦町ホームページの会議録をご覧ください。

中部町村議長会

永年在職議会議員表彰

8月27日、永年在職議会議員表彰が行なわれ、川本正一郎議員が10年以上在職し、功労があったとして表彰されました。今後とも活躍を期待します。



特別叙勲受章の栄誉

故金田章前副議長は、平成14年1月赤碓町議会議員に初当選依頼、平成25年6月まで11年6ヶ月にわたり議員として在職され、町発展のために尽くされました。これらの多大なる功績が認められ、旭日単光章が授与されました。

上納金の文言への教育委員会の対応は

上納金としての認識はない

石前教育委員長



石賀 榮 議員



上納金との表現は反社会的勢力と解放同盟を同一するものであり同和対策事業に逆行するも



上納金との認識はないか。教育委員会はどうか対応されたか。教育委員会としては上納

金としての認識はなく、教育行政施策としては考えていないので議論をする予定は無い。

中学生に議会傍聴と模擬議会議を

いろいろなやり方を検討

山下町長

引き続き研究を図る

小林教育長



小林教育長

中学生の議会傍聴は難しいと捉えているが、学校運営に配慮しながらできる形での対応をこれから考えていきたい。引き続き研究を図る。



新藤 登子 議員

は、町の現状と将来を共に考える機会となる。郷土に目を向けるためにも実現の検討をしていただきたい。



山下町長

また、小・中学生にこの新しい議場で模擬議会の開催についても前向きな検討を望む。

現段階では少し困難と考える。しかし、子供たちに町議会について感心を持たせることは必要だと思う。いろいろなやり方を検討したい。



地域で育ち学んできた中学生に本町の議会傍聴



議 場

「福祉の増進」 どう実現する

積極的に
やっつけていく

山下町長



青亀 壽宏 議員



これまで住民福祉の充実という視点で、どう町独自としての政策ができるのかを考えてきている。地方財政との関係もあり困難な面もあるが、積極的ないろいろな福祉のことをしっかりとやっつけていく。



参議院選挙

の結果、当分の間、安倍首相が政権を担当する。政権の目指す方向は町民の暮らしにとって重大な懸念が予想される。地方自治体の責務は「住民福祉の増進」だが、町長はいかなる方針で対処するのか。

国保税 子供は3割減免を

青亀議員

少子化対策は違った
やり方を考える

山下町長



国民健康保
険は、負担が

高く、負担軽減は町政上の重要課題である。中でも「世帯割り」と「人数割り」は「人头税」の性格を持っている。少子化対策も視野に子ども等の人数割を3割減免する仕組みを作ってはどうか。



既に制度で
「均等割り」

「世帯割り」を3段階で軽減しており、制度化は適当でないと考える。しかし、国保世帯の負担軽減は重要な課題であり、国保運営協議会に諮問し、平成23年度から国保税の税率据え置きを行なっている。少子化対策は違ったやり方を考える。

小規模災害も 手厚い支援を

青亀議員

やっていく

山下町長



異常気象で
ゲリラ的災害

が急増している。災害復旧に対する基準があるが、災害の規模による補助率が大きく異なる。災害被害に規模の大・小は関係ない。小規模災害の地元負担を国基準並に引き上げるべきではないか。



核兵器、原
発、集团的自

衛権など平和に対する不安が強まっている。琴浦町は、合併市町村で最初に「非核平和宣言」をした。平和宣言を生かすため、標柱だけでなく宣言をプレートに刻み、新しい庁舎に設置し、平和を



核兵器、原
希求する意思を示して
はどうか。

「非核平和宣言」の標柱は適切な場所に設置する。プレートの設置については、設置の有無も含め議会とも協議しながら検討していきたい。



小規模災害
の復旧費用の

負担が農家の生産意欲



豪雨災害現場



分庁舎標柱

生薬・唐辛子の契約栽培による 産地化と農家所得の確保

研究していく

山下町長



桑本 始 議員

所得の向上のため、プロジエクトを始動しては。民間企業の参入に対し生薬・唐辛子の加工（乾燥機等）設備等への町独自の助成施策は、町独自の助成施策は

る町独自の助成施策はないが、県の事業で活用できるものがあるので参考にしてもらう。



医療現場で漢方製剤の原料となる薬用作物（生薬）のニーズが高まり、

農林水産省・厚生労働省・漢方薬メーカーによる国策、また、京都のオリジナル唐辛子のいずれも契約栽培である。安定供給による農家



町内の農家で唐辛子の栽培をされている。その結果を参考にしながら、遊休農地解消・鳥獣被害対策とあわせて研究していく。

乾燥設備導入に対す



唐辛子圃場

小学校の統合長期展望は

再統合は考えていない

山下町長

現時点では考えていない

小林教育長



手嶋 正巳 議員



現在小学校は8校で、平成26年には合併により、旧東伯では聖郷小学校、旧赤碓では船上小学校誕生で、全体で5校になる。町長は来年に予定されている町長選に立候補を表明されている。また、教育長も小林教育長に変わっている。今後、平成

27年度から10年くらいのスパンで考え、このまま5校でいくのか、審議会の答申にあるように平成32年度目標で5校を2校にするのか町長、教育長の考えは。

でも100名以上の児童数が確保できると考えており、教育委員会が目指す1学級15名から20名程度の児童数の確保は可能であるので5校から2校への再統合は現時点では考えていない。



山下町長
計画には平成32年度にとあるが、少子化対策などにより多くの取り組みをし、問題意識を持つべきと考える。平成32年度に2校にするという考えは持っていない。

成26年には合併により、旧東伯では聖郷小学校、旧赤碓では船上小学校誕生で、全体で5校になる。町長は来年に予定されている町長選に立候補を表明されている。また、教育長も小林教育長に変わっている。今後、平成

27年度から10年くらいのスパンで考え、このまま5校でいくのか、審議会の答申にあるように平成32年度目標で5校を2校にするのか町長、教育長の考えは。

でも100名以上の児童数が確保できると考えており、教育委員会が目指す1学級15名から20名程度の児童数の確保は可能であるので5校から2校への再統合は現時点では考えていない。



保育料の滞納について

手嶋議員

今後も粘り強く取り組む

山下町長



19年6月定例会での質問

から6年経過した現在、この問題がどうなっているのか過去5



過去5年間では同じように

年間の実績を資料で見ると年々増加している。この状況をどのように捉えているか。またこの対策は。

に滞納が発生している。滞納者の個々の実情を把握して、今後も

粘り強く繰り返し徴収する。

河川、海、森林の環境整備を

継続して行なう

山下町長



井木 裕議員

②琴浦町は海の幸が多

くまちおこしには重要と考えるが、近年とれなくなってきた。

その対策はどうなっているか。

①多様な生物の生育のため

にも河床整理が必要ではないか。



①県が河川パトロールによ

り常時点検し、必要箇所については河床掘削を行なっている。

②琴浦町では赤碕町漁協が、山の環境を整え

うなっているか。

る活動に取り組んでいる。町としてもその取り組みや資源を大事にしていく。

③捕獲や電気柵での防止など対策を継続して行なっている。

公共料金の滞納、対策は

井木議員

対応している

山下町長

徹底した徴収体制で

松田代表監査委員



①公共料金の滞納が増加している。その対策は。

②決算審査意見書の中で財政について公表しているが、監査委員として行政に対し、滞納金の回収についてどのような指導・指示をしたのか。

る。また、税務課への徴収一元化などの対応も行っている。



松田代表監査委員

②悪質滞納者への措置の強化など、徹底した徴収体制で臨むよう指摘している。また、払いたくても払えない事情にも十分配慮すること、納税意識を広める教育的な指導が重要であることなどを指摘している。



山下町長

①各所管課が未納者への早期接触により新規滞納者を増やさないよう対応してい

る。

企業誘致行政の課題は

小・中学校の土曜日授業実施

小椋議員

全力で取り組む

山下町長

検討したい

適切に対応する

小林教育長

山下町長



小椋 正和 議員

電力供給対策は。

④雇用支援策の強化を。

⑤太陽光発電企業の支援策は。

の實現に向けて全力で取り組む。

③整備計画を検討中。

企業進出決定後に必要に応じ電力整備の期間について企業と調整が必要。

①工業団地の整備は。森藤



①森藤団地は引き続き地元

④補助制度の拡充を検討している。

②実施についての課題は。

②実施回数の問題、保護者・地域住民の理解を得ること、教育課程の中の位置づけをどうするか、教職員の勤務についての対

③土曜日が一層有意義なものとなり、確かな学力、豊かな心、健やかな体という生きる力の育成につなげる観点で検討したい。

団地は計画通り推進されるか。他の用地は

オーダーメイド型の団

地形成を推進するか。

②企業支援策の対策強

化は。トップセールス、

マンパワーの活用は。

③光ケーブルの整備、

との協議を粘り強く行う。他の用地も進出企

業のニーズに合わせた

多様な利用を検討する。

②進出企業の投下固定

資産に対する助成制度

の新設を検討してい

る。先頭に立ち、誘致

④補助制度の拡充を検討している。

③教育行政としてはどのように捉えているか。土曜日授業で、命

を大切に教育、思いやりの教育などを取り入れる考えはないか。

③土曜日が一層有意義なものとなり、確かな学力、豊かな心、健やかな体という生きる力の育成につなげる観点で検討したい。



小林教育長



雇用差別をなくせ

同一の労働でないと認識している

山下町長



高塚 勝 議員

ゆる差別をなくする条例」を制定しているが、条例違反ではないか。今後どのように対応するのか。

正職員と非正規職員との組み合わせなどで安全面にも配慮している。今後とも見直すべきところは見直す。



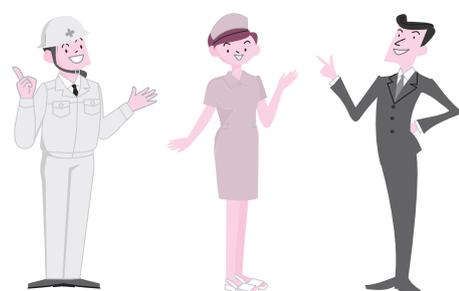
正職員と同じ内容の仕事

をしている非正規職員が多数存在している。特に保育園については、担任までしている。同一労働同一賃金の主旨から言って、深刻な人権問題である。町は「部落差別撤廃とあら



正職員と非正規職員と

では業務内容や責任の度合い、雇用期間、雇用形態の差異などから同一の労働ではないと認識している。町は国の基準より密度の濃い職員体制にしており、



どうなっているの資産経営 (ラアシリティーマネジメント)

高塚議員

新庁舎の水道代は半分になった 山下町長
省エネ環境対策に取り組んでいる 小林教育長



① 町有財産
(土地、建物、

構築物、設備等)を最適な状態(コスト最小、効果最大)で保有、使用、

で最大の効果を発揮するため施設運営や適切な管理を行っている。

啓発など日常の維持管理にかかるコストの軽減



山下町長
① 最小の経費

維持するため、どのような対応をしているか。
② 環境に配慮した庁舎で5ヶ月間経過したが、水道光熱費の以前の比較は。また、車寄せ下の芝の植栽の意義目的は。雨や陽も当たらず、散水など環境に逆行しているのでは。

② 電気代は、新庁舎が旧庁舎に比べ1.7倍の大きさになっているが、1.2倍増で抑えられている。水道代は無水トイレの導入などにより半分に抑えられている。車寄せ下の芝は「グリーンバード」という新品種で管理に



新庁舎玄関前

事業予算は トータル予算に

高塚議員

研究していききたい 山下町長

Q 各種事業予
算に人件費、

その他費用を含めた
トータル予算を作成
し、公表すべきでは。

鳥取県は公開してい
る。例えば、船上山さ
くら祭には約180万
円、白鳳祭は約400
万円使われているが、
人件費も含めた金額は
いくらかかっているか。

A 今後の行財
政改革を実施

するためには有効な手
段だと考える。実施に
向けた試験的な取り組
みとして、数事業の数
値化を行いたい。試験

的な取り組みを積み上
げ、精度の高いトータ
ルコストが算出できる
仕組みづくりを研究して
いききたい。

鳥獣被害対策を充実させては

有効なものを取り入れる



語堂 正範 議員

Q 琴浦町の後
期計画には、

関係機関と連携し鳥獣
被害について有効な対
策を検討すること、ま
た、安定的な農業生産
ができるようにするこ
とが記載されている。
今まで以上に鳥獣被害

A 鳥獣被害は
減少傾向と

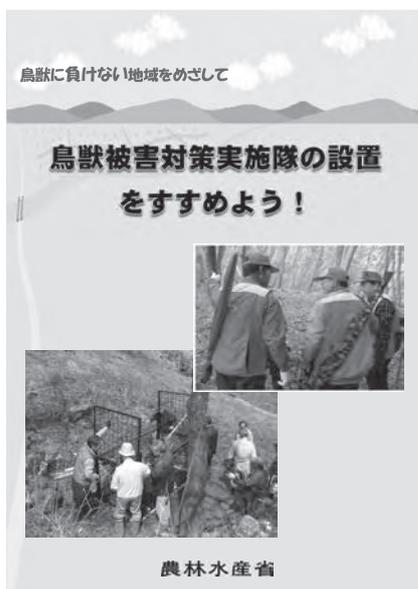
が拡大していく可能性
がある中で、町として
今まで以上の対策、町
民との協力が必要と考
えるがどうか。

なっているが、捕獲数
は増加している。着実
な被害軽減を図るた
め、防護、捕獲の2つ
を基本とした取り組み
と、集落を挙げて面的

な広がりをもった取り
組みを推進していくこ
とが大事と認識してい
る。さらにいろんな有

効な手段、あるいは財
政的にも有効なものは
取り入れるのがいいと
考える。

山下町長



鳥獣被害対策パンフレット

通学路の検証が必要では

語堂議員

その都度問題の解決が必要

山下町長

解消に向けて取り組んでいる 小林教育長



琴浦町では
町内の各小・

中学校の通学路における危険箇所は、保護者、学校などとの合同点検により確認されている。しかし、高校生の通学路など、合同点検では洗い出しができていない危険箇所が存在するのではないか。町が把握できていない危険箇所がある場合、どのような対応をされるのか。



山下町長
関係者と点

検活動を実施し、問題箇所は、関係機関への要望を行い、町道については引き続き整備を行って行く。点検は行っているが、実際には気が付かないような部分があれば、その都度問題の解決が必要となる。



小林教育長
通学路の危



八橋小学校通学路

危険所については本年度も保護者の意見を踏まえて各小・中学校で取りまとめを行っていた。別の危険箇所があれば、合同点検などを行いながら解消に向けて取り組んでいる。



自治基本条
例は、琴浦町

の最高規範となる条例と考える。琴浦町自治基本条例プロジェクトチームでの1年の検討、琴浦町自治基本条例策定委員会での約2年の取り組みなど、策定に向けて関わられた方々のご苦労があったと思う。町長はこの自治基本条例に対し、どのように考えているか。



自治基本条
例はまちづく

りの基本となる仕組みや原則を定めたもので、このことにより町民の皆さんのまちづくりへの参画がこれまで以上



自治基本条例住民説明会

に活発になり、自分達がこのまちをつくっていくという実感が湧いてくると思う。本町の自治を推進する上で必要である。

自治基本条例をどのように考えるか

語堂議員

必要である

山下町長

アナフィラキシー症状時に使用する エピペンの導入を

共通理解し対応していく

山下町長

共通理解を図る

小林教育長



山田 義男 議員

管理体制は、
⑤対応マニュアルの作成が必要では。また、広報活動や研修を受ける取り組みをしないか。



山下町長

①保育園は38名、小学校は17名、中学校は11名いる。

- ① 保育園、各学校にアレルギーの子どもはどれくらいいるのか。
- ② 学校施設にエピペンを持ち込めるのか。
- ③ 給食の献立はどうしているのか。食物アレルギー用の献立マニュアルで給食を作っているか。
- ④ 症状時の職員並びに



※エピペンとは
アナフィラキシー症状が出たときに使用する補助治療剤（アドレナリン自己注射薬）

- ② 学校施設への持ち込みは可能で、中学生は自分で所持している。
- ③ 保育園では除去などの対応をしている。
- ④ アレルギー症状は子供により異なるので保護者からの情報を得て共通理解し対応していく。
- ⑤ 保育園では対応マニュアルを作成中である。アレルギーということの全般について啓

発していくことを検討したい。



小林教育長

① 小・中学校

- で合わせて28名いる。
- ② 中学生2名はエピペンを学校に持ってきている。
- ③ 学校給食アレルギー対応食実施要綱に基づいて作っている。
- ④ 症状が出た場合、緊急対応について保護者と十分な共通理解を図りながら、みずから対応する力をつけることも大切である。
- ⑤ 個別に対応している。学校給食アレルギー対応食の実施要綱などに基づき調理している。

あなたも議会を傍聴してみませんか？

議会は町の予算や方針などを決定するところです。町について関心のある方はぜひ議会の傍聴に来てください。

議会の傍聴を希望される方は、本会議の当日、琴浦町役場本庁舎2階の本会議場傍聴席入口に設置してあります傍聴人受付簿に住所、氏名など必要事項を記入していただければ、傍聴することができます。

議会の日程や内容について解らないことがありましたら、お気軽に議会事務局にお問い合わせください。

なお、本会議場には磁気誘導ループが設置してあります。補聴器の貸し出しを行なっておりますので、必要な方は議会事務局にご連絡ください。

琴浦町議会事務局 TEL (0858) 52-1710 FAX (0858) 52-1718

議会報告を行いました

10月26日と27日の2日間にわたり、初めての議会主催となる議会報告会を行ないました。ただ、出席者が少なく残念でした。

議事進行は前田副議長が行い、川本議長のあいさつに続いて、各議員が自己紹介を兼ねた挨拶を行ないました。議会報告を各常任委員長が行ない、住民との意見交換に移りました。

10月26日（土曜日）

まなびタウンとうはく



住民より「今の琴浦町のカラーは何色？ 現在とこれからのカラーは何色？」という質問が出され、グレー、ブルー、イエロー、ピンク、ホワイト、虹色など、各議員が思い思いに答弁に応じました。

また、議会報告会の広報が足りないのではないか、資料配布も考えてほしい、チャイルドシートの取り組みが大事ではないか、子供達の自転車保険の必要性、などの意見が出されました。

10月27日（日曜日）

琴浦町役場分庁舎



住民より「財政計画の見直しが行政から出されているのか？」との質問を皮切りに、統廃合した学校の跡地利用と地域振興について、議会放映で音が聞き取りづらいので改善を望む、陳情質問がなくなり好ましい、提案を積極的にお願したい、人口減の歯止めは？ 農業委員会と行った視察の結果を知りたい、物産館ことうらについて、報告会の参加者が少なく期待はずれだ、などの意見が出されました。

委員会報告

総務

決算認定

総務常任委員会に付託された一般会計決算と、各財産区特別会計決算について、各担当課からの説明を受け、質疑を行い審議した。一般会計は賛成多数で承認し、各財産区特別会計決算も全会一致で承認した。

意見書提出

本会議において付託された「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」の陳情は全会一致で採択。「消費税増税の凍結を求める」陳情は、可否同数となり、委員長採決により採択が適当と報告した。これらの陳情は本会議でも可決され、関係機関に意見書を送付した。

「道州制導入に断固反対する意見書」については、賛成多数で本会議に提案し、可決された。

委員長 新藤登子



教育民生

決算認定

9月13日に委員会を開催し、所管の一般会計及び国民健康保険会計歳入歳出決算・介護保険特別会計歳入歳出決算・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算・住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算についてはいずれも認定とした。質疑ではカウベルホールの指定管理についての質問があった。

意見書提出

なお、住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算については、抜本的改革が必要であるというところで不認定1名であった。

子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書を求める陳情書他1件については、願意は妥当と認め全会一致で採択とした。

委員長 藤堂裕史



カウベルホール

農林建設

決算認定

9月12日に委員会を開催し、各担当課長出席のもと、当委員会に付託された一般会計決算、農業集落排水事業特別会計決算、下水道事業特別会計決算、水道事業会計決算について慎重に審議し、全員一致で認定とし、本会議でも認定された。質疑では豪雨災害関連の質問があった。

委員長 手嶋正巳



野井倉地内 災害現場視察

企業誘致推進 特別委員会

講演会を開催

8月8日に鳥取県関西本部長米田裕子氏を講師に迎え、講演会を開催した。

企業誘致に向けた鳥取県の取り組みなどを紹介され、「思い切った町独自の支援制度の創設が必要」との提言があった。



企業との意見交換会

10月21日、地元県外企業との意見交換会を、行政と合同で開催した。

委員長 桑本 始



陳 情

[平成25年9月定例会]

番 号	件 名	提 出 者	要 旨	委員会 付託	結 果
陳情第 9号	子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	国及び国会は子どもの権利を最優先に地方自治体の実情を踏まえた上で国と地方自治体の責任のもとで保育制度の拡充を図るよう求める。	教育 民生	採択 意見書 提出
陳情第 10号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2014年度政府予算に係る意見書採択の要請について	鳥取県教職員組合 中部支部長 川上 慎治	少人数学級の推進、具体的学級規模は30人以下学級とすること、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元することを求める。	教育 民生	採択 意見書 提出
陳情第 11号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について	全国森林環境税 創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳 (新潟県村上市議会議長)	森林を守るための財源として「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。	総務	採択 意見書 提出
陳情第 13号	消費税増税の凍結を求める陳情書	鳥取県消費税増税 廃止各界連絡会 代表 奥田 清治	来年4月からの消費税率8%実施の凍結を求める。	総務	採択 意見書 提出



議会広報特別委員会

鳥取県町村議会広報研修会

8月29日、湯梨浜町「水明荘」にて町村議会広報の研修会が開催され議会広報特別委員4名が出席しました。講師に広報コンサルタントの深沢徹氏を招き「議会広報に求められること」について講義を受けた後、9町村が広報のクリニックを受けました。琴浦町の議会だよりは一般質問を全て載せていることが評価して頂きました。

今後もわかりやすい議会広報を目指して頑張っていきます。

委員長 語堂正範



議会運営委員会

議会改革先進地を視察

8月1日・2日にかけて、徳島県勝浦町・徳島県北島町・香川県宇多津町を視察した。通年（マラソン）議会や住民懇談会、中学生議会・女性議会の開催、また、各種団体との意見交換会など、先進地の事例を学び、議会改革の取り組みを進める決意を新たにしました。

委員長 小椋正和



農林建設常任委員会

唐辛子の視察研修

8月22日・23日にかけて、農業委員会と合同で大分県九重町を訪問し、唐辛子栽培による遊休農地解消の取り組みについて視察を行なった。

栗の視察研修

9月24日、農業委員、ぼろたん生産者の方々と一緒に、京都府京丹波町を訪問し、栗の共同選果・栗畑の圃場見学など、栗栽培への取り組みについて視察を行なった。

委員長 手嶋正巳

町民の声



安谷潔美さん

琴浦町で建築設計事務所を営んで、早10年が過ぎました。町の方々には大変お世話になり感謝しております。

思い返せば30数年前、雇用の男女差別を不当に思っていた私は「平等に扱ってもらえないな

ら、自分が男社会に飛び込むしかない」と決心した一歩が、建築の道でした。

それから数年後、男女雇用機会均等法が制定され、世の中が随分と改善された実感してきました。しかし差別的なことは多様にまだまだあると思う事があります。

先日、町外の仕事の打ち合わせに行っていた時の事です。打ち合わせに参加していない方から突然に罵声を発せられ、驚き

と、とても不愉快な思いになりました。業者としての平等な関係にない弱みがあり、私は「そうですか」の返事しか出来なかつたのです。

人としてのモラルもあるのでしようが、人を差別しない同和教育の大切さを改めて実感した出来事でした。



武尾美奈さん

2年前に「アサヒカメラ」という写真雑誌で写真の審査員をされている、宮嶋康彦さんという写真家に出会いました。宮嶋さんは、山陰の女性の肖像写真を撮影する取材のため、鳥取県に来られていました。その時、お話をし

いて、琴浦町出身との話をする。「鳥取県の琴浦町といえば、日本を代表する写真家、塩谷定好さんの出身地だね」塩谷定好さんのことは雑誌の記事に書いたことがあるほど」と熱く語られました。

地元の人たちが、NPO法人の塩谷定好フォトプロジェクトを立ち上げ、塩谷さんの生家を記念館にする活動をされている、と話す。「それは素晴らしい動きだから応援しますよ」君もその活動に参加して盛り上げ

たらいいよ」と言われ、フォトプロジェクト主催のイベントに参加するようになりました。地元ではあまり知られてはいませんが、塩谷定好さんは、植田正治さんの師匠とも言われた人です。日本を代表する写真家が、琴浦町出身というのは本当にすごいことだと思います。

私も非力ながらお手伝いしたいと思います。そして町民の皆様も、ぜひイベントに参加していただけたらと思います。

あとがき



朝夕冷え込む季節となりました。体調管理に十分に気をつけてお過ごしください。

第9回定例議会が開催され、24年度の会計決算を審議、各決算の質疑が集中し白熱した討論がなされた議会でした。

私たち議会議員は、町長が提案する町づくりをチェックすると共に、議会自ら町民の意見を町政に反映すべくその職責を担っています。

今後も議会の様子を町民の皆様にご伝えるため、読みやすくわかりやすい議会だよりの編集に努めてまいります。
(山田 義男)

議会広報特別委員会

- | | | |
|------|----|----|
| 委員長 | 語堂 | 正範 |
| 副委員長 | 山田 | 義男 |
| 委員 | 青亀 | 壽宏 |
| 委員 | 手嶋 | 正巳 |
| 委員 | 藤堂 | 裕史 |
| 委員 | 新藤 | 登子 |



県下議会 認定第1号